

第8回多摩地区5国立大学法人公共工事入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和2年12月7日(月) 東京学芸大学 本部棟3階 第一会議室	
委員	委員長 林 静雄 (大学名誉教授) 委員 清水 至 (公認会計士) 委員 相葉 和良 (弁護士)	
審議対象期間	令和元年7月1日～令和2年6月30日	
抽出案件(合計)	6件	(備考) 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。 抽出案件の個別審議は、委員3名により審議を行った。 その際、委員会資料「資料8-①～⑥」に基づき、各発注機関の担当者から説明を行い、質問等への回答を行った。
工事(小計)	6件	
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	0件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	4件	
工事希望型競争入札	0件	
通常指名競争入札	0件	
随意契約	2件	
設計・コンサルティング業務(小計)	0件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	0件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

別紙

意見・質問等	回 答
<p>1. 今年度の庶務担当、東京学芸大学から委員の紹介、議題及び当日のスケジュール説明を行い、議題1～3について、説明を行った。</p> <p>資料4入札方式別発注一覧（設計・コンサルティング業務）3ページ⑦及び⑧随意契約表中の見積徴収業者数について、1者のみ徴収の2大学について経緯を説明願いたい。</p> <p>理由については理解できたが、なるべく複数者から徴収することが望ましい。</p>	<p>議題1～3については、事前配布しており、当日概要説明を行い、本委員会で承認された。</p> <p>東京学芸大学 複数者に見積を依頼したが、見積金額が提示されたのは1者のみであった。</p> <p>一橋大学 随意契約のため、資料記載の2案件については1者のみ見積徴収となった。</p>
<p>2. 建設工事および設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議（議題4）</p> <p>2-1）一般競争入札方式（最低価格落札方式） 【府中キャンパス中央監視制御設備改修工事（Ⅲ期）：東京外国語大学】</p> <p>I期工事からⅢ期工事までの落札者との関係を説明願いたい。</p> <p>Ⅲ期工事について、一般競争入札方式で実施しているが、他の業者が入札に参加する余地があるか。</p> <p>I期工事落札者以外に入札参加の可能性について調査しているか。</p>	<p>I期工事からⅢ期工事まで同一の落札者であった。</p> <p>I期工事においては、5者による競争であったが、Ⅱ期工事、Ⅲ期工事ともにI期工事落札者のみの応札であった。</p> <p>I期工事落札者以外の入札参加者へ調査を行ったが、I期工事の根幹機器が他社製品のため、自社の施工ノウハウをⅡ期以降の工事に生かすことが難しいとの回答が多かった。しかしながら予定価格は一般競争入札方式による契約を締結する金額であり、競争を許さない工事ではないと判断したため、一般競争入札方式を採用した。</p>

別紙

意見・質問	回 答
<p>2-2) 一般競争入札方式（総合評価落札方式（実績評価型））</p> <p>【環境教育研究センター温室C改修工事:東京学芸大学】</p> <p>入札辞退の理由について調査は行っているか</p> <p>特殊な工事には見受けられないが、公告以外に周知等はおこなっているか。</p> <p>予定価格は初回と再公告で同額か。</p>	<p>当該工事を担当する主任技術者等を、社内で調整することが難しかったとの回答であった。</p> <p>温室施設専門の施工実績のある複数者へ、入札公告について情報提供とともに参加を打診したが、先に述べた技術者等の調整、上部開閉式ガラス扉という一般の温室とは若干異なる仕様による難易度等のため、1者入札という結果となったのではないかと分析している。</p> <p>再公告において仕様書の変更に伴い、予定価格は変更している。また、参加資格についても、初回が不調となったことに伴い、参加資格を広げる等の対応を行なった。</p>

別紙

意見・質問	回 答
<p>2・3) 一般競争入札方式（総合評価落札方式（実績評価型））</p> <p>【附属小金井小学校校庭全天候舗装改修工事：東京学芸大学】</p> <p>入札した16業者すべてが予定価格を下回っているということについて説明願いたい。また積算に問題がなかったのかについても説明願いたい。</p> <p>逆に競争性の面から16業者が入札に参加した要因について分析しているか。</p> <p>4月早々に公告した理由はあるか。</p>	<p>予定価格調整時に3者から見積を徴取し予定価格の基礎資料としているが、その中のゴムチップ価格が予定価格作成時よりも低い価格で全ての業者が仕入れ可能になったことが主な要因ではないかと分析している。今後は予定価格算出にあたり、本契約の実績を基に低減率を厳しく設定することとしたい。</p> <p>4月に公告を行ない、コロナ禍において非常事態宣言が発せられるなどの先行き不透明な状況で、受注を確保しておきたい業者が多かったのではないかと想像はしている。</p> <p>附属学校のスケジュール調整の中で、夏休みを主な工期にあてることを狙いとして公告手続きを進めた。</p>

別紙

意見・質問	回 答
<p>2-4) 一般競争入札方式（総合評価落札方式（実績評価型））</p> <p>【（国立）本部四宿舎取り壊し工事：一橋大学】</p> <p>予定価格と入札金額との差額の原因について分析はしているか。</p> <p>予定価格の算出はどのような方法で行ったか。</p> <p>入札参加条件の施工延床面積を800㎡としているのはどのような理由か。</p> <p>専門業者から見積を徴取しているにも関わらず低入になったのはなぜか。</p> <p>工事中にアスベスト飛散について測定しているか。</p>	<p>労務費と仮設費の積算結果の差が主な原因であると分析している。</p> <p>アスベスト調査後にアスベスト撤去専門業者、躯体解体業者及び外構関係業者から見積を徴取し、積算資料等による本学での積み上げを基礎として算出した。</p> <p>アスベスト撤去を含む解体撤去施工実績となると、全体延べ面積1600㎡の条件では、規模が大きく参加者が集まらないことが予想されたため、難しいと判断した。</p> <p>そこで、周辺が住宅街での工事のため、安全管理に配慮し、敷地外へのアスベスト飛散防止対策を行なうこととし、1敷地毎の延べ面積を施工の条件として800㎡に設定した。</p> <p>解体工及び諸経費の積算において、入札価格と積算予定価格に乖離があったと分析している。</p> <p>国立市に測定結果を報告している。</p>

別紙

意見・質問	回 答
<p>2-5) 随意契約 【大学会館（I期）特高電気室真空遮断器等 更新工事：電気通信大学】</p> <p>真空遮断器とはどのようなものか。</p> <p>業者選定理由書に記載されている保守点検についても契約しているか。</p> <p>保守契約の相手方が本工事を落札したことで、契約金額が他の業者よりも低くなることはあるか。</p> <p>予定価格を作成する際に、基礎資料としての見積徴取は本契約の相手方のみか。</p> <p>契約に至るまでに選定業者からの見積徴取は1回のみか。</p>	<p>特別高圧電気室内にある高圧盤に組み込まれている設備で、直方体の機器が全体で20セット程度あり、本契約ではそのうちの半分強を更新した。</p> <p>保守点検については大学全体で別途契約している。なお、今回契約した業者は、別途契約業者の下請けで、計画停電時における特高受変電設備の点検を実施している業者である。</p> <p>保守契約と本工事との契約上の関連はなく、相手方が本工事仕様書に基づき応札していただいたと考えている。</p> <p>予定価格作成時には複数者から見積を徴取している。</p> <p>契約までに複数回の交渉の中で、業者からの見積金額は提示されている。</p>

別紙

意見・質問	回 答
<p>2-6) 随意契約 【小金井団地ライフライン再生（受変電設備）工事：東京農工大学】</p> <p>文科省から予算が示達されたのはいつ頃か。</p> <p>一般競争入札ではなく9月に随意契約する緊急性があったのか</p> <p>随意契約方式の採用により、令和2年3月工事完了できたということか。</p> <p>予定価格の決定方法はどのようであったか</p>	<p>令和元年6月に文科省から示達された。</p> <p>平成30年度に4回もの停電があったことにより、再度の停電を回避するために緊急性が認められると判断し、早期発注を行うため随意契約方式を採用した。</p> <p>配電盤等の製作や現地調査等全体工程を検討した結果、一般競争方式では3月の工事完了は難しいと判断した。</p> <p>見積や積算資料等による積み上げ方式で予定価格を決定した。</p>

別紙

意見・質問	回 答
<p>(その他) について今年度は特になし。</p>	

委員講評

<p>本日は各大学の方々から議題案件の説明を聞いて納得しました。本委員会も8年目ということで順調に機能していると感じましたし、努力をされていることが見受けられました。</p> <p>引き続きつづきこの体制を維持していただくとともに、本委員会での対応に感謝いたします。</p>
